

特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

平成 29 年度(2017 年度) 事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日まで)

1. 市民活動を支援する施設の管理運営事業

内 容 施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。
日 時 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月・通年
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 19 名
受益対象者 公益活動団体及び関心のある個人
支 出 額 26,686,046 円

2. コミュニティ形成を支援する事業

(1) まちスポ×さぼちが連携事業

内 容 茅ヶ崎南西部地区の新しいまちづくりの拠点においてエリアマネージメントをテーマに活動する「特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎」と連携、交流を進め、互いに情報交換を行うことにより相互の組織運営力及び信頼度を高める。
日 時 平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月・通年
場 所 まちづくりスポット茅ヶ崎、茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 6 名
受益対象者 茅ヶ崎市南西部地区住民及び一般市民
支 出 額 165,391 円

(2) コミュニティ・コンシェルジュ

内 容 「ジオ茅ヶ崎フレンチア」(以下、「ジオ茅ヶ崎」という)居住者が良好なコミュニティを形成することにより、日常的なトラブル防止、防災減災、防犯並びに美化を推進し、居住環境の維持及び向上に資することを目的とする。
日 時 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月
場 所 ジオ茅ヶ崎フレンチア・マンションギャラリー他
従事者人員 2 名
受益対象者 茅ヶ崎地区周辺で活動する市民活動団体及び一般市民
支 出 額 22,154 円

(3) 余暇支援ネットワーク

内 容 茅ヶ崎・寒川地区の障がいのある人々の余暇活動を地域で支援するネットワークメンバーとして人をつなぐ。
日 時 平成 29 年 4 月～11 月、10 月 21 日(土)
場 所 神奈川県立茅ヶ崎養護学校他
従事者人員 2 名
受益対象者 福祉関係者及び一般市民

支 出 額 18,000 円

3. 協働によるまちづくり推進事業

(1) 企業と NPO のマッチング

今年度は特に実施しなかった。

(2) 食から未来へ勉強会

内 容 [地域の野菜・果樹の力を知ろう] 地域農産品について基礎から勉強することを通じて新しいネットワーク及び人材の発掘を行った。

日 時 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

従事者人員 4 名

受益対象者 市内の企業、大学関係者及び一般市民

支 出 額 48,226 円

(3) 商店街賑わい創出勉強会

内 容 現状に危機感を持つ商店主を中心に、行政や企業にも参加を呼びかけ勉強会を開催することを通じて、関係者のネットワークづくりを推進した。

日 時 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従事者人員 4 名

受益対象者 市内の企業、大学関係者及び一般市民

支 出 額 32,098 円

4. 市民活動に関する調査研究事業

実施しなかった。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

実施しなかった。

なお、事業 1 の詳細は P3～P20、事業 2～3 までの詳細は P21～P24 に記載する。

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

総括

新たな4年の指定管理期間初年度は、サポセン15周年という節目の年だった。今期目標に掲げた3つの運営の理念「情報発信の強化」「エンパワメント」「協働の実践」を実現させていくべく、ホームページや市民活動団体データベースのリニューアルなど、事業を発展させるためのベースづくりに力を入れた。また昨年度から取り組んできたICTによる業務改善の一環でグループウェア「サイボウズ Office10」を本格導入し、スタッフ間の情報共有の強化、コミュニケーションの活発化、業務の効率化を実現することができた。

1. 施設の運営に関する業務

(1)ロッカーの使用の承認、取消し等に関する業務、利用料金の徴収、還付に関する業務

事務所を持たないNPOに対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出。

62団体(大:17団体、小:45団体)稼働率88%

(2)作業コーナーの管理運営に関する業務

貸出パソコンについてはリース会社との保守メンテナンス契約の他、ITスタッフによる定期メンテナンスを行った。また利用者に対し、利用に当たってのお願い事項をイラストなどを使用してわかりやすくまとめ提示するようにした。印刷機・紙折り機・ページセッターの利用サポートと機器類のメンテナンス、消耗品の管理を実施。

(3)ロッカー、レターケース利用団体宛のファックス及び郵便物の取り次ぎに関する業務

市民活動団体への郵便物・物資・情報等の仲介をした。132件。

(4)職員体制に関する業務

4月より、認定NPO法人湘南ふじさわシニアネットと導入準備を進めてきたグループウェア「サイボウズ Office」と「メールワイズ」を本格稼働させ、スタッフ間の情報共有を図ることができた。職員のスキルアップに関しては、毎月第3水曜日(休館日)に勉強会を実施し、情報セキュリティや防災、NPO法人制度や支援の在り方について学習したほか、それぞれが各種講座に積極的に参加した。

開催日	概要	参加人数
5月12日(金)	中間支援組織のための支援力アップ塾スタートアップ編 第1回 @東京ボランティア・市民活動センター	2名
5月31日(水)、 6月24日(土)	中間支援組織のための支援力アップ塾スタートアップ編 第2・3回 @東京ボランティア・市民活動センター	1名
6月30日(金)	NPO支援機関セミナー第3回「NPOバンクの現状と課題、今後」 @mass×mass 館内フューチャーセンター	1名
7月3日(月)	ボランティア活動支援スタッフセミナー(初任者向け)@かながわ県民活動サポートセンター	1名
7月18日(火)	かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム 支援力UP研修「改正個人情報保護法のココがポイント！」@藤沢市市民活動推進センター	2名
9月9日(土)	パワーアップセミナー「すぐに使える！魅せるチラシデザインのコツ」 @かわさき市民活動センター	1名

10月10日(火)、 17日(火)	200分で学ぶNPO運営講座「事業活動を評価する」@かながわコミュニティカレッジ	1名
11月9日(木)	暴力団排除及び不当要求行為等対策研修会@市役所	1名
1月25日(木)	人が集まる講座とチラシの作り方「参加したい!と思われる講座作り」 @寒川総合体育館	2名
2月1日(木)	人が集まる講座とチラシの作り方「集客につながるチラシの作り方」 @いこりあ	2名
3月20日(火)	NPO 法成立 20 周年記念フォーラム@アルカディア市ヶ谷<私学会館>	1名

(5)その他

サポセン内のコーヒー常設スタンド

市民活動団体「サンチャイ ねばるば」がスタンドを常設。コーヒー1杯につきお米 1kgをネパールに寄付する活動を行っている。今年度は、コーヒー224杯(館内138杯+ワイワイまつり86杯)の協力があった。(ねばるば全体で届けることができたお米が756kg、約1/3がサポセン関連であった)

パソコン等なんでも相談

Try Sustainability 4Rで地球環境維持、保全を目指して活動している小関氏による「パソコン、オーディオ、玩具、なんでも相談(修理等)」が館内で毎週月・火の9:30~16:00、年75回開設され、のべ90名の利用者があった。昨今パソコンの利用者は減少傾向にあるが、突発的な困りごとや修理や使い方など気軽に相談できることから、親しみをもって繰り返し訪れる利用者も多く、またサポセン備品の機器トラブルにも丁寧に対応していただいた。

2. 広報に関する業務

(1)施設の周知啓発に関する業務

ア. ホームページの作成及び管理運営

- ・ホームページは(株)ボンドに発注して4月1日、全面的にリニューアルした。(株)ボンドとは毎月ミーティングを行い、コンテンツの追加やデザインなどを検討しつつ、閲覧者にも分かり易く役立つサイト運営を心掛けた。
- ・イベント・助成金等の情報アップや、主催事業の開催告知、報告、お知らせなど通常の情報更新はスタッフにより随時作業を行った。2018年3月末までに、団体イベント1,158件、助成金等41件、主催事業告知・報告36件の情報を提供。
- ・Twitter、Facebookではサポセン最新情報を提供。2018年4月28日現在のTwitterフォロワー数267、Facebookフォロワー数883と、昨年度比Twitter103%、Facebook109%と増加している。

イ. サポートセンター情報紙の発行

- ・「ニューズレター」を年6回(各号1,800部)発行。
- ・市内公共施設ならびに館内配架の他、市民活動団体データベース登録団体、近隣自治体のボランティア支援施設、市内協力団体・個人・企業へ配布、ホームページに掲載。サポセンの取組みを紹介する資料として活用した。

	発行	内容
vol.53	5月	6・7月主催イベント告知、ホームページリニューアル、サポセン紹介(施設案内、事業の実施スケジュール、市民活動応援プログラム)、事業報告(げんき基金事業決定など)
vol.54	7月	7・8・9月主催イベント告知、事業報告(ipad講座、利用者懇談会、高校生受入、情報管理に

		ついて)、お知らせ(ガイドブック WEB 版、IT ボランティアについてなど)
vol.55	9 月	9・10・11 月主催イベント告知、事業報告(ユースボランティア、オトナのよるカフェ 1・2、イーパーツリユース PC 寄贈プログラム、協働推進事業制度説明会・座談会)、お知らせ(備品、市民レポーター入門講座、げんき基金へ寄付など)
vol.56	11 月	11・12・1・2 月主催イベント告知、事業報告(意見交換会、オトナのよるカフェ 3・4、ボランティア塾)、お知らせ(ワイワイまつり参加団体募集、車イスの寄贈など)
vol.57	1 月	1・2・3 月主催イベント告知、事業報告(居場所づくり交流会、協働推進事業候補団体決定、市民レポーター入門講座、NPO 活動の棚卸し講座Ⅰ、文教大サービスランニング)、お知らせ(図書コーナー設置、ワイワイまつり運営ボランティア募集など)
vol.58	3 月	4 月主催イベント告知、事業報告(NPO 活動の棚卸し講座Ⅱ・Ⅲ、オトナのよるカフェ 5) ワイワイまつり特集、お知らせ(レンタルロッカー利用募集など)

ウ. サポセン・市民活動の PR

- ・「施設利用案内」として三つ折りパンフレットを作成、1,000 部発行した。
- ・「春の市民まつり」「秋のふれあいまつり」に参加し、子ども向けクラフトやクイズなどを通してサポセン PR を行った。

(2) 市民活動団体の広報支援に関する業務

ア. 市民活動団体データベースの作成及び管理、それを基としたガイドブックの編集及び発行、

ホームページへの情報掲載

- ・2017 年 4 月下旬に登録団体へ団体情報の更新案内を郵送。5 月末までに更新・変更情報のある団体から返信を受付けた。返信のない団体には電話やメールによるヒアリングを行って活動状況を確認し、データベース(以下 DB)の更新作業を実施、作業完了時の 7 月時点での登録数は 366 団体。また、8 月初旬には、ホームページへガイドブック Web 版をアップロードした。
- ・当年度は冊子版ガイドブックの発行を見送り、次年度発行へ向けた紙面掲載内容の見直しを図るため、登録団体および配布先の公共施設へのアンケートを実施し、冊子版の利・活用状況の把握と分析を行った。
- ・年間を通して、新規登録団体および団体情報変更の申請を受付け、随時 DB とホームページ Web 版ガイドブックを更新し、閲覧者へ最新の情報提供を行った。
- ・当年度 3 月末時点で登録数 370 団体、うち当年度の新規登録 18 団体、登録取消 14 団体。
- ・次年度に向けて AccessDB の再構築を計画、現在使用中の DB 構築を行った難波氏へ、新たな DB 構築について相談し作成を依頼した。新 DB はロッカー/レターケース利用も含めた、団体情報を一括管理できるように設計。
- ・冊子版ガイドブックに関しては、スタッフ間で定期的に打合せを行い、掲載内容・紙面レイアウト等の詳細を検討。印刷・製本については、Access から直接冊子版団体情報の原稿を出力を予定し、外部発注の見積りを行った。

イ. 広報ちがさき「市民の活動だより」への掲載仲介

- ・広報ちがさき「市民の活動だより」へデータベース登録団体より毎月紹介し通算 11 団体を掲載。

ウ. FM 広報番組「はまかぜ ちがさき」への出演仲介

- ・レディオ湘南「はまかぜちがさき」内で、活動 PR する市民活動団体を通算 10 団体紹介。

エ. 情報(掲示物)コーナーにおける市民活動団体の掲示物の受付・掲示・管理、団体への情報提供

- ・データベース登録団体の機関紙やイベントチラシを中心に、市民活動に関するイベントや運営に役立つ講座、各

種ボランティア講座、助成金情報などを整理して見やすく掲示した。

- ・広報ちがさきはじめ市主催のイベント、市民公募、パブリックコメント他刊行物、公共施設や他地区支援センターの広報紙やイベントチラシ等も手に取りやすいように平机とラックを活用して掲示した。
- ・神奈川新聞やタウンニュースなど地域紙で掲載された、市民活動や市に関する記事を切り抜きについては、曜日ごとに掲示した。(市民活動団体の年間メディア掲載件数:131件)

館内掲示物の内訳

イベント 講座	広報紙 機関紙	会員・ ボランティア募集	補助金 助成金	地域紙	その他	合計
1158	545	44	41	192	185	2165 (前年比 97 %)

- ・データベース登録団体への情報提供については、ニューズレターやイベント案内など、奇数月 10 日ごろにゆうメールにて送付したことに加え、メール登録のある団体には、同様の内容をメールでも送信した。

3. 市民活動の支援及び市民活動推進に関する業務

(1). 市民活動に関する相談並びに連絡調整に関する業務

毎月 1 回(第 2 月曜日)、法人代表理事による特別相談日を設けて対応した。

- ・げんき基金や協働推進事業への申請相談や、実施中の運営伴走支援など、特に活動を始めたばかりで組織運営に悩む団体には、団体ごとにきめ細やかな対応をした。
- ・高校生・大学生など若い世代からの相談では、ひとりひとりと面接をし希望を聞いたうえで、子ども食堂など居場所や学習支援、動物愛護、補助犬啓発、海岸清掃、サポセンイベントの準備ボランティアなどを紹介した。
- ・茅ヶ崎に引っ越してきたばかりという人からの問合せが多かった印象。希望分野で市民活動団体を紹介する他に、生涯学習ガイドブックや近くの公民館やコミセンのサークル活動もあたってみるよう案内。知らない土地で仲間づくりに戸惑う人への対応が必要であると感じた。
- ・その他、不要品の有効活用、野良猫に関すること、発達障がいを持つ子どもの母親からの相談など目立った。
- ・事業者からの店舗の一部や空きスペースを活用してまちの活性化のために貢献したいという相談や、学校からの授業協力をしてもらえる団体を探しているという相談などには、該当する市民活動団体を紹介した。

相談・問合せの内容

カテゴリ	利用者の声	問合せ	相談	計
ア.施設・備品の利用	18	74	3	95
イ. サポセン主催事業	29	54	4	87
ウ. 市の施策(協働推進事業・げんき基金)	10	12	24	46
エ. ボランティア・市民活動	2	48	23	73
オ. 団体の運営(法人設立・組織運営)	2	3	8	13
カ. 団体の運営(活動資金・助成金)	4	3	14	21
キ. 団体の運営(活動場所)		1	5	6
ク. 団体の運営(ボランティア募集・人材確保)		1	6	7
ケ. 団体の運営(広報)	4	13	11	28

コ. 団体の運営(活動内容・事業企画)	6	3	11	20
サ. 団体の運営(会計・税務・労務・)				
シ. 団体の運営(その他)	3	4	5	12
ス. 地域資源・情報のコーディネート	3	2	13	18
セ. 行政・企業・大学・他団体等との連携・協働	8	4	19	31
ソ. その他	11	39	13	63
合計	98	259	158	

相談者の内訳

所属区分	利用者の声	問合せ	相談	計
市民活動団体	47	72	67	186
特定非営利活動法人(NPO 法人)	16	8	16	40
公益法人・非営利法人	2	3	7	12
行政	3	23	9	35
企業	6	5	11	22
学校	5	5	11	22
地縁団体(自治会など)	2	6	2	10
福祉関連機関	1	9	1	11
その他	5	11	7	23
個人	11	117	31	159

(2) 市民活動推進のための事業の実施に関する業務

ア. 市民活動推進及び市民活動団体育成のための講演会、講座等の実施(年4回以上)

(ア) NPO 講座の実施

新しい価値を生み出す魅力を持つ市民活動を多くの方に知ってもらうため、「市民レポーター」として情報発信するボランティアを養成するために入門講座を企画した。また、団体のニーズが高い「資金」と「人材」確保、「運営力」の向上、「広報」の充実について、自分たちの活動を見つめ直すことができるような3つの講座を開催した。

開催日	概要	参加人数
9月16日(土) 10月14日(土) 11月25日(土)	人と地域をつなぐ～市民レポーター入門講座(全3回) SNS などのツールで効果的な情報発信をするための取材プロセスやノウハウを学ぶ実践講座。 講師:北原まどか氏(NPO 法人森ノオト理事長) 池田美砂子氏(フリーライター/greenz.jp シニアエディター)	8名
12月9日(土)	NPO 活動の棚卸し講座Ⅰ 活動に必要な「お金」を得るために知っておくべき3つのポイント 市民活動を支える様々な財源、資金調達の方法、補助金・助成金を得るときに団体内で考えておくべきポイントについて講義。 講師:東樹康雅氏(認 NPO 法人藤沢市民活動推進機構 育成支援マネージャー)	18名
1月27日(土)	NPO 活動の棚卸し講座Ⅱ 心をつかむチラシのデザイン・キャッチコピーのコツ 会員募集や活動報告、イベント案内などのチラシ作りに悩む団体向けに企画。	30名

	豊富な事例を基に誰もがすぐに実践できる、デザインのルールや印象に残るキヤッチコピーの書き方について講義。 講師:大工原 潤氏(認定 NPO 法人さいたま NPO センター理事)	
2月10日(土)	NPO 活動の棚卸し講座Ⅲ これで安心!「個人情報管理」 改正個人情報保護法の施行で、NPO や市民活動団体も「個人情報取扱業者」として、会員・ボランティアやイベント参加者などの、個人情報の取扱いや管理についての対処方法を講義。 講師:会田和弘(認定 NPO 法人イーパーツ 常務理事/事務局長)	11名

イ. 市民活動団体の交流のためのイベントの実施(年1回以上)

(ア)地域の居場所づくり交流会の実施

今回の地域の居場所づくり交流会Ⅱは、横浜市今宿地域ケアプラザ「くつろぎカフェ・音楽喫茶」の取り組みを紹介することで、地域包括支援センター・福祉相談室・公民館等のスタッフ、居場所運営に関心を寄せる市民に、企画づくりコツを学ぶ機会を提供した。さらに後半は、コーヒーボランティア団体「ペリゴール」の本格コーヒーを飲みながら、ワールド・カフェという話し合いの方法を用いて「居場所づくり」に関してアイデア交換をし、顔の見えるネットワークをつくった。

開催日	概要	参加人数
11月18日(土)	地域の居場所づくり交流会Ⅱ～きく、あじわう、つながる～ 第1部:講義「人が集まる場づくりのコツ」「コーヒーボランティアの魅力」 第2部:「交流会」ワールド・カフェ方式によるグループワーク～ 「どのような居場所を作りたいか?」「居場所づくりを実現するためにできることは?」などについてグループ内で情報交換。地域でサロンを開いている人や空家活用を検討している人などが参加。 【ゲストスピーカー】 ・真鍋敦さん(横浜市今宿地域ケアプラザ地域交流コーディネーター) ・菅野弘道さん(コーヒーボランティア「ペリゴール」代表)	32名

(イ)「ちがさきサポセン☆ワイワイまつり」の実施

茅ヶ崎をより良い地域・社会にするために活動している人・団体が集結して「市民活動の楽しさ・おもしろさを多くの市民に伝え」「互いの活動を知り交流を深め」「力を合わせたまちづくりに取り組みきっかけにする」ことを目的に開催。市民活動団体を中心に、行政・企業・地域・大学など様々な団体が連携・協力し、中央公園とサポセンの二つの会場で、様々な出会いと交流が生まれた。

当年度のテーマを「子ども×げんき＝未来!」とし、まちの未来をつくる子どもたちが、安心して元気いっぱい遊べるように、いつまでも自分らしく過ごせるように、そして子どもたちが20年後30年後も、美しい茅ヶ崎で豊かな暮らしができるよう、力を合わせて持続可能な未来をつくっていこう、という趣旨に沿った企画を参加団体が持ち寄り、多くの体験型ブースを実施できた。まつり1週間前からサポセン館内の壁面に児童絵画展示、茅ヶ崎駅前ペディストリアンデッキとサポセン花壇の掲示板に幟旗を設置したり、館内の壁面を飾り付けを行うなどの広報活動をおこなった。

市民活動団体は主体的に行動し、主催者企画やブース撤収後の公園美化にも積極的に取り組んでいた。事業者は売上金の一部を「げんき基金」へ寄付したり、スタンプラリー景品への商品提供など、ワイワイまつりの趣旨を汲んだ参加ができた。毎回まつり運営の柱となる、延べ50名のボランティアには、準備段階から当日の会場設営・解体、

運営補助に尽力していただいた。

開催日	概要	参加人数
11月10日(金) 11日(土)	募集要項&参加申込書配布開始(申込〆切12/16(金)) キックオフ交流会 11/11(金)18:00~20:00、11/12(土)10:00~12:00 開催	43名
1月13日(土)	場所&プログラム作戦会議 10:00~12:00、13:30~15:30(ステージのみ)	95名
2月25日(日)	参加するたび 私のまちが 好きになる- テーマ「こども×げんき=未来！」 内容:参加団体が主体となった模擬店、物品販売、体験、ステージの他に、 主催者企画として スタンプラリー、さぼちゃんポスト寄贈式、子ども向け防災 プログラム「イザ!カエルキャラバン! in ちがさき2018」を実施 メイン会場:中央公園 サブ会場:ちがさき市民活動サポートセンター	来場者 約8,500名 参加・協力 90団体 (初参加 20団体)
3月4日(日)	おつかれさまカフェ 内容:香川ビデオサークルが録画・編集したまつりのビデオを鑑賞の後、今後 の市民活動PRと交流イベントについて意見交換。	25名

ウ. 市民活動ネットワーク会議に関する業務

(ア) 市民活動ネットワーク会議への出席

近隣支援センターや関連機関との情報交換などから日常的な支援に役立てることができた。

開催日	概要	参加人数
4月21日(金)	平塚市市民活動推進委員会(平成29年度第1回)@ひらつか市民活動センター	1名
4月26日(水)	大和市市民活動推進補助金実施報告会	1名
5月20日(土)	平塚市協働事業審査会 平成28年度実施事業報告会@ひらつか市民活動センター	1名
5月26日(金)	JT2017年度NPO助成事業 助成金贈呈式&活動成果発表会@JT神奈川支社	1名
6月10日(土)	地域のお茶の間研究所「さろんどて」総会@さいとうさんち	2名
6月28日(水)	第1回人生100歳時代かながわ実現会議(仮称)	1名
7月11日(火)	平塚市市民活動推進委員会(平成29年度第2回)@ひらつか市民活動センター	1名
7月27日(木)	かながわ人生100歳時代ネットワーク会議第2回ワーキング部会	1名
9月7日(木)	かながわ人生100歳時代ネットワーク会議 第3回ワーキング部会	1名
9月14日(木)	平塚市協働事業審査会 平成29年度事業中間ヒアリング@ひらつか市民活動センター	1名
10月7日(土)	平塚市協働事業審査会 平成30年度実施提案型協働事業公開プレゼンテーション&審査会@ひらつか市民活動センター	1名
11月1日(水)	ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング@かながわ県民活動サポートセンター	1名
11月14日(火)	平塚市市民活動推進委員会(平成29年度第3回)@ひらつか市民活動	1名

	センター	
11月14日(火)	かながわ人生100歳時代ネットワーク会議第2回全体会第4回ワーク部会	1名
2月8日(木)	かながわ人生100歳時代ネットワーク第3回全体会議・第6回ワーク部会	1名
2月21日(水)	大和市市民活動推進補助金打ち合わせ	1名
3月3日(土)	大和市市民活動推進補助金実施報告会	1名

(イ)「かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム」の実施

- ・認定 NPO 法人イーパーツ協力のもと、団体所有の PC で情報収集や情報発信を積極的に行いたい市民活動団体へ、企業提供のリユース PC を寄贈して活動を支援するプログラム。県内 10 か所(藤沢・茅ヶ崎・小田原・大和・座間・平塚・綾瀬・相模原・鎌倉・逗子)の NPO 支援センターが連携・協力して実施。寄贈式は各支援センターが交代で行い、本年度は茅ヶ崎サポセンが担当となった。
- ・寄贈式は市民自治推進課の協力のもと、市役所本庁舎 4 階の会議室にて実施。県内合計 44 団体が参加、リユース PC 55 台を寄贈した。団体交流イベントでは「思わず応援したくなる！団体ビジュアル・コンテスト」を実施、茅ヶ崎市 PR では市民活動団体「フイケ アオ アロハ ハウオリ」が参加。会場全員でプチフラダンスの体験を楽しんだ。
- ・本プログラムは、神奈川県内の市民活動状況について情報共有を図り、中間支援組織スタッフ間のつながり促進や IT スキルアップの機会となっている。

開催日	概要	参加数
5月19日(金)	特別講座&プログラム説明会 改正個人情報保護法で必要になるコト ～情報管理に必要なコト！教えます！～ 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター フリースペース大	12名
8月26日(土)	第14回 寄贈式および寄贈団体向け情報セキュリティ講習会 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室1・2・3 茅ヶ崎の市民活動団体へは5団体へ6台を寄贈	100名

エ. 若年層やシニア層をはじめ市民の市民活動への参画の促進

(ア)「ユースボランティア茅ヶ崎」の実施

中学生から大学生くらいを対象にボランティアきっかけ作りのプログラムを実施。(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会と共催で、新たな参加者を発掘し活動への理解を深めている。受入先は高齢者・障がい者・子ども福祉、子育て・保育、環境保全、地域安全、動物愛護、海外支援などにかかわる 21 団体。ボランティア体験から社会の一員としての意識と、参加者個人の成長を促し、地域社会の課題と向き合う市民活動の芽を育むことも目的としている。

開催日	概要	参加人数
7月14日(金)	オリエンテーション 場所:さがみ農協5階 大会議室	113名
7月15日(土)	場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	
7月16日(日)～22日(土)	個別オリエンテーション 場所:サポセン、社協	13名
7月21日(金)～9月15日(金)	ボランティア体験期間(2日以上)の体験)	126名
8月23日(水)	カフェ de ボランティア 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	56名

(イ)「地域ボランティアエアポート」

- ・高校生のボランティア活動を支援する拠点としての役割を果たした。年間を通してボランティアの仲介をした。

・茅ヶ崎高校ボランティア同好会・西浜高校 JRC 部、茅ヶ崎北陵高校生は個人的に毎月 1 回、およびサポセン主催事業でも受入れ。また、ボランティア塾後に体験を希望した鶴嶺高校生にも仲介を行った。

・県にボランティア情報をメールにて情報提供した(6 月)

①第 10 回かながわ子ども・子育て支援月間(県民局次世代育成部)に 8 月の支援月間中の関連企画について

②「PLANET かながわ」HP(県立図書館生涯学習サポート課)に夏季休業期間中の青少年向けボランティア情報

開催日	概要	参加人数
6 月 25 日(日)	高校生のためのボランティア活動応援コース スタートアップ講座 場所:神奈川県立図書館 オリエンテーション	1 名
8 月 27 日(日)	高校生のためのボランティア活動応援コース ステップアップ講座 場所:神奈川県立図書館 報告会	1 名
2 月 21 日(水)	地域ボランティアエアポート連絡会 場所:神奈川県立図書館 各地域ボランティアエアポートにおける高校生への支援の状況について 高校生のボランティア促進、エアポート活性化についてグループ協議	1 名
月 1 回	茅ヶ崎高校ボランティア同好会、茅ヶ崎西浜高校 JRC 部、部活動の一環として、また個人として北陵高校生も加えてボランティア受入、 鶴嶺高校のボランティア塾 DVD により、ボランティアについて学びを提供 (4/26、5/31、6/19、7/12、9/27、10/23、11/22、12/18、1/15、2/5、3/19)	9 名
主催事業時	ユースボランティアオリエンテーション(7/14、7/15)・カフェ de ボランティア (8/23)の準備・受付～片付け、市民まつり(11/3)のおもちゃづくりサポート、 ワイワイまつり(2/25)のエコステーション・カエルキャラバン運営サポート	
随時	・高校生と団体・施設とのボランティア仲介 ・ボランティア塾 in 鶴嶺高校終了後、ボランティア希望生徒に団体仲介	2 名

(ウ)「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」の実施(総合的な学習の支援)

課題を見つけ自主的に活動を行う人との出会いやふれあいの中で高校生にできるボランティアを知る。活動している人の声を直に聞き、これまで他人事であった社会課題を自分のこととして捉えることができるようになる。生徒がボランティアや進路についてじっくり考える貴重な機会となった。

開催日	概要	参加人数
10 月 26 日(木)	「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」1 年生総合学習の授業(講師派遣、仲介) ① 全体学習(同校体育館)。大学 2 年生(卒業生)によるボランティア体験談をスライドで示し、進路に繋げて講演。また、東日本大震災の後、先輩たちの継続した支援・交流について纏めた資料を配布した。 ② 分科会(同校各教室等)。生徒が希望団体の講義・ワークショップを体験。各団体は活動への思いを伝えた。(市民活動団体 17 団体)	400 名
12 月 26 日(火)	鶴嶺高校とのボランティア塾反省会	3 名

(エ)学生インターン・ボランティアの受入

市民活動を担う若年層の育成のため学生インターン・ボランティアの受入れを実施(前項(イ)をのぞく)。

・茅ヶ崎西浜高校 1 年生 1 名(ユースボランティア 8/10、15、18)

- ・文教大学国際学部国際理解学科 3 年生 1 名、国際観光学科 2 年生 2 名
(サービスラーニング 8/17、9/21、10/2、10/25、11/8、11/29、12/6、12/13)
- ・生蘭高等専修学校生 (3/15、23、29)

(オ)スタディツアーの実施

文教大学湘南キャンパスのサービスラーニング受講学生 3 名とともに、茅ヶ崎を知るツアーを計画・実施した。自分たちの通学している「身近な地域の自然や食」を理解する良い機会となった。

開催日	概要	参加人数
12 月 16 日(土)	茅ヶ崎の食って知ってる？ 茅ヶ崎のブランド牛を生産・販売する斉藤牧場を訪問、県立茅ヶ崎里山公園 周辺の散策、ワークショップ	11 名

(カ)生涯現役応援窓口との連携

- ・生きがい担当のふたりのコンシェルジュとは折に触れ情報交換を行い、連携して相談対応を行った。
- ・6 月 10 日(土)農・環境活動に関する「体験オトナセミナー」実施にあたり、環境分野の市民活動団体を紹介。
- ・10 月に開催された第 7 回セカンドライフセミナーのゲストでサポセンスタッフが 1 名参加。
- ・3 月 23 日(金)茅ヶ崎市シルバー人材センターにて、行政担当課、市社協など関連団体と「生涯現役応援窓口およびセカンドライフセミナーに関する打合せ」。

(キ)市民活動交流カフェ(よるカフェ)の実施

人が出会い、つながり、何かが生まれ。活動を始めるきっかけとなる交流の場。

今年度は、主にシニア世代にターゲットを絞り、自分の好きなこと・大切に思うこと・持っているスキルでたくさんの人を巻き込んでまわりの人たちを幸せにする活動をしている先輩から、生き方のヒントをもらう「オトナのよるカフェ」を企画し、これまであまりサポセンを知らなかった人たちに多く参加してもらうことができた。

また、ふたつの団体持込企画を実施した。

開催日	概要	参加人数
6 月 27 日(火)	第 14 回よるカフェ団体企画 だれでも使える！かんたん iPad 講座 講師:安岡伸さん(認定 NPO 法人湘南ふじさわシニアネット)	23 名
7 月 22 日(土)	第 15 回オトナのよるカフェ1 「茅ヶ崎のおもたせ和菓子で自然を守る」 ゲスト:鈴木國臣さん(三翠会代表)	17 名
8 月 30 日(水)	第 16 回オトナのよるカフェ 2 「生バンドでつながる思い出の歌」 ゲスト:西信光さん(歌声サロン「チーパッパ」代表)	79 名
9 月 30 日(土)	第 17 回オトナのよるカフェ 3 「ふだんの暮らしと社会を結ぶ、私たちができる“もちより”支援」 ゲスト:重田扶美子さん(NPO 法人 WE21 ジャパンちがさき代表)	17 名

10月28日(土)	第18回オトナによるカフェ4 「“おばあちゃんの精進ごはん”に学ぶ迷わない生き方」 ゲスト:中園五月さん、園部暁美さん(精進料理 iori)	29名
1月29日(月)	第19回オトナによるカフェ5 「新たな世界と仲間が広がる、パソコン、スマホ・タブレット」 ゲスト:大木伊都子さん(特定非営利活動法人パソコンボランティア湘南理事長)	11名
3月11日(日)	第20回よるカフェ団体企画 「防災カフェ2018～東日本大震災から7年 3.11から未来へつなぐ ソーシャル×IT×防災」 講師:内野義生さん(防災スイッチオン!プロジェクト代表)	23名

オ. 切手寄贈プログラム「さぼちゃんポスト」の実施

家庭に眠っている未使用切手を預かり、市民活動団体へ寄贈する事業が定着し、今年度は10名の方々から30,166円の切手が寄せられた。また、9団体へ合わせて60,000円分の切手を贈ることができ、2月25日(日)ワイワイまつりで寄贈式を行った。寄贈先団体からは、さぼちゃんポストによって情報発信の充実・通信費の軽減による副次的効果等感謝の言葉が寄せられた。5年前、「母親と集めた6万円の切手を役立ててほしい」と市内在住の横井氏の思いを受けて始めた本事業は、今回の寄贈式をもって終了した。

開催日	概要	寄贈団体数
2月7日(水)	審査会: 審査員3名、事務局1名にて開催 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	9
2月25日(日)	寄贈式: 60,000円分を寄贈 場所:中央公園(ワイワイまつり) しっぽのみかた、茅ヶ崎市聴覚障害者協会、NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン、認定特定非営利活動法人 ゆい、湘南シニアクラブ、湘南あゆみの会、つなぎの会 茅ヶ崎、ちがさき開智舎、NPO 法人 ウェルフェアポート湘南	9団体

(4) 様々な活動主体との連携に関する業務

ア. 地縁団体(自治会等)との連携に関する業務

(ア) 市民活動団体と地縁団体との連携状況の把握

・市民自治推進課職員とともに、地域コミュニティ&テーマコミュニティの学習会(1/22)を実施した。

(イ)「イザ!カエルキャラバン!」実施の後方支援(連携に向けた事業実施)

2012年に茅ヶ崎で初めてサポートセンターの事業として開催後、市内の自治会・子ども会・推進協議会など地域の防災訓練として実施の後方支援をしてきた。市内の一部地域団体では、本防災プログラムを継続して実施することで、若年層や若い家族の防災訓練への参加率も上昇していると思われる。

開催日	概要	備考
10月1日(日)	湘南地区まちぢから協議会 地区防災訓練 場所:中島中学校	備品貸出

11月4日(土)	松尾自治会 防災訓練 場所:松尾自治会館	備品貸出
11月23日(木)	香川小学校区青少年育成推進協議会 子ども大会 場所:香川小学校	備品貸出
1月14日(日)	茅ヶ崎市ジュニアリーダーズクラブ「イザ!カエルキャラバン!2018」研修 場所:青少年会館	21名
1月21日(日)	香川・小和田推進協有志、市民ボランティア「イザ!カエルキャラバン!2018」研修 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	5名
2月6日(火)	ミナシア防災会 防災訓練 場所:ミナシア集会所	備品貸出
2月24日(土)	小和田小学校区青少年健全育成推進協議会 「中学生と大人のつどい」 場所:赤羽根中学校	13名

ちがさきサポセン☆ワイワイまつりと同時開催の「イザ!カエルキャラバン!2018」では、茅ヶ崎市ジュニアリーダーズクラブ、香川・小和田推進協有志や市民ボランティア等の協力を得て、多くの市民に体験型の防災プログラムを提供することができた。防災プログラムの他にもおもちのかえっこを実施したことで、市外からも多くの親子連れが来場していた。防災プログラムでは、新たに市民活動団体の「茅ヶ崎セフティコミュニティアマチュア無線クラブ」が参加。茅ヶ崎市からは消防本部、防災対策課の参加と、モリタ宮田工業(株)、茅ヶ崎青年会議所など企業の参加を得て盛大に開催できた。

イ. 様々な主体との(企業、大学、公益法人等)連携に関する業務

(ア)「ちがさきサポセン☆ワイワイまつり」の実施(連携構築に向けた事業実施)

※市民活動団体の交流のためのイベントの記述参照

(イ)その他関連機関との連携

①文教大学との定期連絡会

文教大学湘南キャンパス国際学部ボランティア委員会との情報交換を定期的実施。

市民活動団体からのボランティア募集情報や、大学生が参加できるイベント情報を提供し、団体と大学生の活動を支援した。(5/9、7/11、9/26、12/12、1/18)の日程で年5回実施した)

その他文教大学との連携事業

開催日	概要	参加人数
4月18日(火)	ボランティアだらけの大交流祭@文教大学	8名
6月8日(木)	国際学部渡邊ゼミ3年生へのレクチャー「市民活動について」@サポセン	8名
10月7日(土)	文教大学特別講義Gについて「大学が地域で活動することは」講義	9名
8月~12月	サービスラーニングプログラム受講学生の受入	4名

②「ボランティア大学講座」への協力

6月16日(金)	ボランティア大学講座 「市民活動とサポセンの紹介」	福祉領域のボランティア活動 初心者	58名
----------	------------------------------	----------------------	-----

	場所:さがみ農協ビル 5 階大会議室 共催:茅ヶ崎ボランティア連絡会・茅ヶ崎 市社会福祉協議会		
--	---	--	--

③「ちがさき健康づくり講座」への協力

11月2日(木)	ちがさき健康づくり講座 「市民活動について」	食生活改善推進員養成講座 受講生	18名
----------	---------------------------	---------------------	-----

(5) 市民活動を推進する市の施策等の充実に関する業務

ア. 「協働」カフェの実施(協働推進事業の周知啓発)

行政と市民活動団体等の協働事業の意義、協働推進事業の目的・内容等について市民活動団体等に周知を図るため、以下のとおり「協働推進事業制度説明会・座談会」を実施した。

開催日	概要	参加人数
8月2日(水)	体験者が語る！協働推進事業制度説明会・座談会 「協働の意義」「協働推進事業」の概要説明(市民自治推進課) 参考事例紹介 ・「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画発信及び事業 PR」 (NPO 法人湘南スタイル、社会教育課) ・「美術『みるっこ』プログラム事業」 (NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会、文化生涯学習課) 座談会「協働の魅力、協働事業だからできたこと」 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階会議室	8名

イ. 「市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会」の実施

市民活動団体等と市職員が対等な立場で茅ヶ崎の様々な課題を共有し、それぞれの立場でできること・アイデアを持ち寄って、協働推進事業実施への可能性や、協力し合うことができる接点を探る話し合いの場。

テーマごとに NPO 法人 NPO サポートちがさきスタッフと市民自治推進課職員がコーディネーターを務めた。

【参加】市民活動団体等:10 団体 行政:15 市担当課

日	テーマ	市民活動団体等	行政担当課
9月11日(月)	下寺尾官衙遺跡群を活かしたまちづくり	NPO 法人アーバンデザインセンター・茅ヶ崎	社会教育課、 景観みどり課
	認知症予防教室	湘南笑いヨガクラブ	高齢介護福祉課
	高齢者の健康・栄養ガイドラインの啓発・普及	福祉・介護農園普及推進会、 食農・健康推進会	健康増進課、 高齢介護福祉課
9月14日(木)	現役世代(30代～50代)対象、ローカルキャリア形成のための広報・機会提供	NPO 法人湘南スタイル	企画経営課、文化生涯学習課、 農林水産課、産業振興課

	Local Plus	市の魅力向上・観光用ポケット ダブルガイド(紙のパンフレッ ト)制作	産業振興課
	湘南子どもフォーラム懇談会(SCF) 「わーく」編集部	ティーンズ防災教室	防災対策課
	食から市民の健康を考える会	地場産農水産物による「健康 腸活」プロジェクト	企画経営課、農林水 産課、健康増進課
9月15日(金)	ごみの減量化・資源化啓発への動画活用	認定特定非営利活動法人湘 南ふじさわシニアネット	資源循環課、 環境事業センター
	保育所のサッカー運動教室	ミナスタ	保育課、室田保育園
	生物多様性に配慮した、災害時に強い 持続可能な公園づくり	ツインウェイブ北口ガーデンク ラブ	環境保全課、公園緑 地課、景観みどり課

ウ. 協働推進事業へ提案等を行う団体の支援

平成 29 年度市民提案型推進事業の実施団体に対し、事業の進め方や広報活動、報告書作成等に関する相談に随時応じた。特に団体を立ち上げたばかりの団体に対しては、組織運営なども含めて伴走支援を行った。

平成 30 年度実施事業に関しては、行政提案型推進事業の内容について、より充実した事業になるよう担当課や提案団体に対してアドバイスをを行った。

また、制度に対する理解を深め、よりの確な支援を行うため、市が主催する下記のイベントに積極的に参加した。

開催日	概要
5月27日(土)	平成 28 年度実施 市民活動げんき基金補助事業・協働推進事業 実施報告会 場所: 茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階会議室
12月2日(土)	平成 30 年度実施 協働推進事業 公開プレゼンテーション 場所: 茅ヶ崎市役所本庁舎 4 階会議室

エ. 市民活動げんき基金への提案等を行う団体の支援

平成 29 年度事業の実施団体に対しては、事業の進め方や広報活動、報告書作成等に関する相談に随時応じた。

平成 30 年度実施事業に関しては、市民自治推進課による制度説明会開催時に、事業計画書作成ポイントとモデル事例を紹介したリーフレットを参考資料として配付。その後、特に初めて申請する団体に対しては伴走支援の形で、事業企画や申請手続き、プレゼンテーションに向けてのアドバイスなどを行った。

開催日	概要	参加団体
4月13日(木)、 14日(金)、 17日(火)	平成 29 年度実施市民活動げんき基金補助事業 進め方説明会 採択事業を実施するにあたって、費用項目や領収書の書き方など注意事項について市民自治推進課より説明、サポセンから広報などのアドバイス。	13 団体
12月12日(火)、 12月22日(金)	平成 30 年度実施市民活動げんき基金補助事業 伝わる！企画書作成会 企画書・申請書類の書き方を中心に、市民活動げんき基金の仕組み、	6 団体

	公開プレゼンテーションの進め方などを説明。 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	
3月2日(月)、 12日(月)、 27日(火)	平成29年度実施市民活動げんき基金補助事業 報告書作成会 事業の実施報告書内容の書き方アドバイスや収支決算書の確認。 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階	5団体

また、制度に対する理解を深め、よりの確な支援を行うため、市が主催する下記のイベントに積極的に参加した。

開催日	概要
5月27日(土)	平成28年度実施 市民活動げんき基金補助事業・協働推進事業 実施報告会 場所:茅ヶ崎市役所4階会議室
3月17日(土)	平成30年度実施 市民活動げんき基金補助事業 公開ヒアリング/プレゼンテーション 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室

オ. げんき基金の周知啓発に関する業務、増額を図るための取り組み

げんき基金については、市民まつりや窓口カウンターなど、様々な場面でPRと募金活動を行った。

募金箱設置の際は、サポセンで収穫したラベンダーやゴーヤ、利用者からの提供品(花苗や種、あみぐるみなど)を返礼品とした。また、ワイワイまつりに出店した事業者からも収益の一部を寄附していただけるよう呼びかけた。

カ. 市職員への研修講座の実施、研修受入

4月11日(火)	新採用職員研修(前期)講座 「行政とNPOとの協働」	茅ヶ崎市職員	56名
10月6日(金) ～10日(火)	NPO派遣研修(5日間)	茅ヶ崎市生活支援課職員	1名

(6) 市民活動の状況把握に関する業務

ア. 市民活動に関する情報収集及び提供に関する業務

(ア) 市民活動に関する図書を選定、購入及び管理

図書コーナー(本棚)脇に「新着図書紹介・雑誌コーナー」を新設した。

平成29年度新規購入図書:『非営利団体の資金調達ハンドブック』徳永洋子著ほか5冊。

定期購入雑誌:『ソトコト』(木鐸社)、『ガバナンス』(ぎょうせい) *以上は新規購入雑誌

『ウオロ』(大阪ボランティア協会)、『ビックイシュー』(ビックイシュージャパン)

(イ) 市民活動団体、関係機関が発行する機関誌、市民活動に関する関係資料等の収集及び管理

利用者が団体を知る資料として、機関紙やチラシなどをファイルした市民活動団体メモリーファイルを分野別に掲示した。また関係資料についても閲覧できるように整理して掲示した。

イ. 市民活動の状況調査に関する業務

(ア) 市内における市民活動の状況調査及び分析

今年度は、調査項目について検討を行った。

(イ) 市民活動団体への活動状況調査及び分析

「市民活動団体ガイドブック」冊子の改訂版発行に伴い、内容考案のためアンケートを実施。冊子の発行や活用について参考になる意見が多くあったほか、広範な市民活動の動向を知ることができた。

調査対象：ちがさき市民活動ガイドブック掲載団体（352 団体）

実施時期：平成 29 年 5 月～6 月末

回収率：200 団体/352 団体（56.8%）

(ウ)「ラベンダーカフェ(利用者懇談会)」の実施

6 月 28 日(水)、30 日(金)2 回開催、参加者 13 名。日常的に利用している団体の参加が少なく、センター利用に関して意見を聞くことが出来なかったが、参加者各々の活動の紹介と抱えている課題を聞き、みんなで解決の方法を考え意見を出し合う場となった。

(7) 危機管理に関する業務

・防火管理者、緊急時対応マニュアル、土嚢積み、防災訓練、情報セキュリティなどへの取り組みについて

5 月 17 日(水)	スタッフ勉強会にて以下の内容について説明した。 ・ウィルスセキュリティ対策 ・防火管理者	12 名
5 月 19 日(金)	「改正個人情報保護法」特別講座	12 名
6 月 7 日(水)	スタッフ会議にて以下の内容について説明、対応策を検討した。 ・サボセン PC から迷惑メールが発信された事件→注意事項ファイル添付で対応	12 名
7 月 3 日(月)	消防用設備点検(平和防災㈱)	-
7 月 18 日(火)	改正個人情報保護法講習会参加	1 名
7 月 26 日(水)	オフィス防災 EXPO 見学	2 名
8 月 16 日(水)	スタッフ勉強会にて以下の内容について説明・確認した。 ・消防計画書 ・防災訓練(防災対策、避難経路、非常時対応、連絡方法、消防・防災マニュアル(震度 5 以上)にしたがって、スタッフの行動、消火器、ヘルメット、ブレイカーの位置、非常時に持ち出すもの等の確認	9 名
10 月 6 日(金)	スタッフ会議にて以下の内容について依頼した。 ・スタッフの自宅 PC のセキュリティアンケート調査	10 名
10 月 22 日(日)	台風 21 号接近のため土嚢積み夜間閉館	-
10 月 25 日(日)	かながわコミュニティカレッジ「マンション防災連続講座」参加	1 名
11 月 9 日(木)	暴力団排除及び不当要求行為等対策研修会出席	1 名
11 月 12 日(日)	情報セキュリティ勉強会開催	6 名
11 月 15 日(水)	かながわコミュニティカレッジ「マンション防災連続講座」参加	1 名
1 月 5 日(金)	消防用設備点検(平和防災㈱)	-
1 月 9 日(火)	スタッフ勉強会にて以下の内容について説明した。 ・クレーマー対応マニュアルを更衣室に掲示	12 名
1 月 16 日(火)	防火管理者関連資料提出(消防本部)	-

	<ul style="list-style-type: none"> ・防火管理者専任届出書 ・消防計画作成届出書 ・茅ヶ崎市民活動サポートセンター消防計画 	
1月21日(月)	大雪警報発令のため夜間休館	-
2月10日(土)	情報セキュリティ講座開催	20名
2月25日(土)	イザ！カエルキャラバン開催 ・消防本部や協力団体との連携で8つの防災プログラムを展開	3500名
3月1日(木)	防災ラジオ設置	-
3月8日(木)	防災動画アンケート依頼	-
3月11日(土)	防災カフェ開催	27名
3月28日(水)	緊急時対応マニュアル提出(市民自治推進課)	-

・防災設備チェックおよび職員の災害・緊急時対応訓練について

8月16日(水)	スタッフ勉強会(防災訓練)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策として日常業務において点検すべきことの確認。 ・火器や避難経路の点検、防火対策、非常時の対応・連絡方法などの確認。 ・サボセンの消防・防災マニュアル(震度5以上)にしたがって、スタッフの行動や消火器、ヘルメット・ブレイカーの位置、非常時に持ち出すもの等の確認。 	9名
9月1日(金)	かながわシェイクアウト(利用者・職員対象) いっせい防災行動訓練	神奈川県シェイクアウト訓練音声ガイダンスを利用	18名
11月27日(月)	防災備品交換	消費期限切れの備蓄品交換(五目御飯2箱)	-
1月9日(月)	防災倉庫備品確認	五目御飯100個入り2箱、ポータブルトイレ1セット、トイレ消臭固化材100個入り2箱、毛布10枚入り3箱、20水6本入り6箱を確認	-
1月31日(水)	国民保護サイレン一斉再生訓練	一斉再生訓練実施	8名

(8)施設等の維持管理に関する業務

四半期ごとに指定管理業務実地調査が行われ、おおむね優良であることが確認された。

築15年を経過して、机・椅子などに軽微な不具合も出ているが、スタッフが修理して大事に使っている。

花壇ボランティア(NPO サポーターズと会員)による植栽デザイン、適切な施肥と除草により、四季折々の草花が道行く人々の目を楽しませ、サボセンの顔として好評を得ている。夏にはラベンダーや窓を覆うゴーヤのカーテンを育てて利用者と分かち合い、今年も募金を「げんき基金」に寄付した。

(9) 経営管理に関する業務

年間事業報告書を作成した他、毎月、利用統計表、業務報告書、事業スケジュールの進捗状況一覧、利用者の声・問合せ・相談内容一覧を作成し、市民自治推進課に報告した。また月初めに館内の利用状況をグラフにして掲示した。

(10) その他の業務

ア. 視察対応に関する業務

他市からの行政・議会等の視察に対する施設内外の案内及び説明。

7月12日(水)	サポセンの位置づけ・事業内容等について質疑応答等	岸和田市共産党所属議員	5名
7月24日(月)	サポセンの運営について	町田市市民協働推進課	3名
12月15日(金)	センター運営・事業について情報交換	特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議	2名

イ. 環境への配慮

- ・キャノピースイッチによる不要な照明の消灯など節電に努めた。
- ・市民立太陽光発電所(れんこちゃん1号)については、NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワークに定期的に使用電気量の報告を受け取った。今年度は、自家消費分等にあたる93,262円を同法人に寄付した。
- ・古紙の再利用や使用済みインクカートリッジのリサイクル活動に協力。
- ・主催事業時には、できる限り紙コップや紙皿など使い捨て容器を使用せず、また利用者にゴミの持ち帰り協力を求めるなど、ゴミの発生抑制に努めた。
- ・3月4日(日)～3月9日(金)エコ事業者による省エネ活動展@イオン茅ヶ崎中央店1階正面入口にてサポセンの紹介をした。

ウ. ふれジョブ活動の受入

5月～11月の毎週月曜日 13:30～14:30 で茅ヶ崎養護学校高等部1年生男子1名を受け入れた。

エ. 企業の社会貢献活動の仲介

明治ホールディングス(株)及び同社株主より、社会貢献活動の一環として明治グループの製品(お菓子)の寄贈の申し出があり、障害のある子ども対象の活動をしている「ふれジョブちがさき・さむかわ」を推薦し、12月9日にお菓子の受け取りを仲介した。

茅ヶ崎市民活動サポートセンターの指定管理者（4期目）となり、センターの管理運営と合わせて法人の様々な事業をスタートさせた。

2. コミュニティ形成を支援する事業

(1) まちスポ×さぼちが連携事業

年間9回会議開催（6/16、7/14、8/10、9/7、10/5、12/18、1/26、2/22、3/15）

まちづくりスポット茅ヶ崎（以下、「まちスポ」という）とNPOサポートちがさき（以下、「さぼちが」という）からなる会議体「まちスポ×さぼちが連携会議」を立ち上げて推進した。

会議は6月から3月まで毎月開催し、議事録を作成して情報共有を図った。

まちスポの認定NPO法人化をめざすための情報提供、県指定NPO法人化の支援を行った。

① まちスポの組織基盤強化（諸規程の整備等）の支援を行った。

作成した規程（案）

理事会運営規程、事務局規程、職務権限規程・（別表）決裁基準、就業規則、文書規程、

事務分担、職員の給与の支給に関する規程、旅費交通費規程、個人情報保護規程、

まちスポを神奈川県指定NPO法人に推薦する署名のお願い・署名用紙

② 構成員が多忙なため定例会議を実施するのが精いっぱい、合同研修・交流が行えなかった。

(2) コミュニティ・コンシェルジュ

「ジオ茅ヶ崎フレシア」（以下、「ジオ茅ヶ崎」という）におけるコミュニティ形成にかかわる運営業務、次に掲げるイベント開催に関する企画立案、運営を行なった。

クリスマスイベントの実施 12月21日（土）

(3) 余暇支援ネットワーク

恒例の「キラキラちゃんふる音楽祭」10月21日（土）（障がいのあるなしにかかわらず、みんな一緒に音楽やショーを楽しむ音楽祭）を企画・運営した。

3. 協働によるまちづくり推進事業

(1) 企業とNPOのマッチング

今年度は特に実施しなかった。

(2) 食から未来へ勉強会

外部協力者はそれぞれ高い知見を有しており、外部協力者を講師として勉強会を開催した。メンバー以外の参加も歓迎。NPOサポートちがさきからの情報発信に注力した。

第1回 勉強会

日 時：10月2日（月）茅ヶ崎市民活動サポートセンター

参加者：8名

講 師：菊地達也氏 JAさがみ販売課

テーマ：「みなさんは、どこまで知っていますか？身近な食の流通」

第2回 勉強会

日 時：12月14日（木）茅ヶ崎市民活動サポートセンター

参加者：6名

DVD視聴、自主勉強会

第3回 勉強会

日 時:1月10日(水) 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

参加者:12名

講 師:岩井達氏 文教大学健康栄養学部准教授

テーマ:「国際化時代の穀菜果食」～21世紀の食の在り方とvegetarianism～

(3) 商店街賑わい創出勉強会

商店会加盟店店主の高齢化が進む中で、空き店舗が増え、商店街利用者も減少傾向にある。こうした傾向に歯止めをかけ、再び商店街に賑わいを創出するためには、商店会の現状改善に意欲を持つ関係者の輪を広げることが急務である。そこで、現状に危機感を持つ商店主を中心に、行政や企業にも参加を呼びかけ勉強会を開催することを通じて、関係者のネットワークづくりを推進した。

第1回異業種楽習会

日 時:10月26日(木) 19時～21時

場 所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター

参加者:13名

テーマ:「商店街が変わる まちが変わる」

講師:鈴木博明氏(神奈川県産業労働局商業流通課副主幹)

第2回異業種楽習会

日 時:3月12日(月) 19時～21時

場 所:翔の会研修センター

参加者:18名(第2部交流会参加者:14名)

テーマ:“農福商連携”がまちを変える!

講師:内海宏氏((株)地域計画研究所代表取締役)

4. 行政・他機関への委員会委嘱等の協力 [事務局]

派遣等

茅ヶ崎市行政改革推進委員会(年4回)
地球温暖化対策推進協議会(年3回)
社会福祉法人翔の会理事会(年6回)
社会福祉法人翔の会評議員会(年3回)
かながわ県民活動センターのアドバイザー相談

他セクターとの連携等

茅ヶ崎商工会議所青年部 茅ヶ崎名物会議 第2回「素材を活かそう」 8月21日(月)
青年会議所 第45回神奈川ブロック大会「茅ヶ崎大会」 9月9日(土)
茅ヶ崎商工会議所賀詞交歓会 1月11日(木)

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所新年式典 1月11日(木)
茅ヶ崎商工会議所青年部 茅ヶ崎名物会議 第3回「具体化に向けて」 2月26日(月)

後援・協賛

第7回ローカルファーストシンポジウム 2月21日(木)
「ローカルファーストとスポーツが健康なまちをつくる」後援
家族ピアハートフルひまわり講演会 「家族だって元気になろうよ」2月22日(金) 協賛
「キャンドルナイト茅ヶ崎2017」12月9日(土) キャンドルホルダーとして協賛

その他

(1) 会員向け情報紙「ハーモニー」の発行

4月、7月、10月、2月(4回発行)

会員やサポートセンターの職員からの寄稿により親睦を深めることができた。また、“さぼちが”の自主事業や認定NPO法人取得に向けた経過を報告し、情報共有を図った。

(2) 仲間づくり部活動@RIVENDEL

志を同じくする人たちがコミュニティ農園「RIVENDEL」の利用、また同好会活動などを通し 参加者相互の親睦を深めるための活動を行った。

1. ごはん会 12月7日(水) 参加者8名

2. 蒟蒻づくり 12月28日(木) 参加者3名

3. 干し芋づくり 2月6日(火) 参加者5名

(3) 情報発信

ホームページをリニューアルし、NPOサポートちがさきの情報発信をする。

法人の基本データの公開、毎年度の事業報告、会計報告、貸借対照表の掲載。

・アウトブレイン(株)との打ち合わせ2回、事業報告の掲載、法人基本情報の更新。

(4) 自主推進会議

新しくスタートした事業の進捗状況確認と、意見交換。

会議 全6回開催 参加者7名

法人運営

1. 通常総会

2017年度通常総会

日時: 平成29年(2017年)5月17日(水) 16:00~17:00

会場: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

出席者数: 出席20名、委任状提出12名、合計32名(正会員総数42名、過半数が出席)

- 議 事： 第1号議案 平成28年度(2016年度)事業報告の承認
第2号議案 平成28年度(2016年度)収支決算の承認
第3号議案 平成29年度(2017年度)活動計画の基本方針及び事業計画の審議・決定
第4号議案 平成29年度(2017年度)収支予算の審議・決定
第5号議案 定款の変更
第6号議案 組織図の変更
全ての議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

2. 理事会

- 4月5日(水) 茅ヶ崎市民活動サポートセンター第4期目指定管理者協定書について
5月8日(水) 2016年度決算及び2017年度事業計画、予算書について
5月10日(土) 2017年度基本方針及び自主事業計画、定款変更について
8月9日(水) 2017年度実施予定自主事業について
11月15日(水) 2017年度人件費および法人のホームページリニューアルについて
1月10日(水) 役員改選について
2月14日(水) 2018年度事業計画について
3月14日(水) 役員改選および2018年度基本方針、事業計画について

3. 運営会議

年間12回、毎月開催 参加者12名

事業の進捗、会計報告等サポートセンターの管理運営に関する事項および自主事業推進についての意見交換を行った。

4. 県指定NPO法人定款変更、更新手続き

- 12月21日 貸借対照表の公告の方法にともなう定款変更「指定特定非営利活動法人変更届出書」提出
1月29日 県指定特定非営利活動法人の更新「指定特定非営利活動法人指定更新申出書」提出

以上